



令和4年12月15日

関東地方整備局

港湾空港部

記者発表資料

「アマモメッセンジャー」が関東地方整備局を訪問

～子供達が採取した「アマモの種」で東京湾再生を～

12月23日（金）に、横浜市立金沢小学校と横浜市立みなとみらい本町小学校の子供達がサンタクロースに扮し、「アマモメッセンジャー（アマモに東京湾再生のメッセージを込める者）」として関東地方整備局を訪れます。

横浜市立金沢小学校では、「金沢八景－東京湾アマモ場再生会議」とともに野島海岸や金沢区海の公園などでのアマモ場再生活動に熱心に取り組んでおり、自分達で採取したアマモの種で「東京湾を海の生き物でいっぱいにして欲しい」との願いを込め、平成19年から毎年訪れており、今年で16回目を迎えます。今年も横浜市立みなとみらい本町小学校も参加します。

アマモ場は、沿岸の浅瀬に分布しており、「海のゆりかご」とも呼ばれ、魚類などの産卵場・成育場として重要な役割を果たしております。近年は、二酸化炭素を吸収するブルーカーボンの代表として地球温暖化対策の観点から世界的に注目を受けています。

関東地方整備局では、この届けられた種を東京湾再生への活動の輪として大きく育てていくとともに、持続した価値ある取り組みとして活躍する子供達の善意に感謝し、以下の日程でセレモニーを行います。

<セレモニーの概要>

- 開催日時 令和4年12月23日（金）15:00～16:00
- 開催場所 関東地方整備局港湾空港部 横浜第二合同庁舎14階 141会議室
- 開催内容 アマモメッセンジャーからの「メッセージ」、アマモの種の受け渡し 等
- 参加者 横浜市立金沢小学校、横浜市立みなとみらい本町小学校、
一般財団法人みなと総合研究財団、金沢八景－東京湾アマモ場再生会議、
NPO法人海辺づくり研究会、東京湾の環境を良くするために行動する会、
ハマの海を想う会
- その他 取材をご希望される報道関係者の方は、別添「取材登録書」により12月22日（木）14:00までに電子メールにてお申込み下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

●関東地方整備局 港湾空港部（横浜庁舎） TEL : 045-211-7404

事業継続計画官 岡島 達男（おかじま たつお）

課長補佐 名嘉 元康（なか もとやす）

(別添)

取材登録書

取材を希望される方は、事前に電子メールにてご登録をお願いします。

送付期限: **令和4年12月22日(木)14:00まで**

様式は次の関東地方整備局港湾空港部HPの記者発表欄のExcelファイルを活用ください。

<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/kyoku/news/kisya.htm>

送信先: 関東地方整備局港湾空港部 事業継続計画官室

送付先アドレス: pa.ktr-umipro[a]mlit.go.jp

※お手数ですが、[a]を@に変更し送付願います。

◆報道機関名

◆取材者

1) 代表者

2)

3)

◆連絡先(代表者の連絡先) →取材当日に連絡可能な携帯電話等

【備考】

・上記の「◆連絡先(代表者の連絡先)」には、取材当日に連絡可能な携帯電話等の連絡先を記入して下さい。(取材当日に変更等が生じた場合に連絡します。)

【注意事項】

・来場の際はマスクの着用を厳守の上、新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いいたします。担当職員の指示に従っていただけない場合、その場で取材をお断りいたします。あらかじめご了承ください。

【取材当日の連絡・問い合わせ先】

関東地方整備局 港湾空港部 事業継続計画官
岡島 : 090-1044-2035

【取材申込み送付先】

関東地方整備局 港湾空港部 事業継続計画官室
名嘉、佐藤、小野口

pa.ktr-umipro[a]mlit.go.jp

※お手数ですが、[a]を@に変更し送付願います。